



シーシーエスの“自然光 LED”が富山県水墨美術館に採用へ ～繊細な水墨画を、美しく・優しく照らし出す～

シーシーエス株式会社（本社：京都市上京区 代表執行役社長 各務嘉郎）が開発した超高演色性 LED である“自然光 LED”を光源とする美術館・博物館用 LED スポット照明「MUSEUM COB SPOT LIGHT」が、富山県水墨美術館（富山県富山市、館長 柳原正樹）に採用されました。

当社の“自然光 LED”は紫励起の LED チップをベースにしており、紫色から赤色までの全ての可視光を含んでいるため、太陽光に非常に近いという特性を持っています。今回採用いただいた照明は、色の再現性を示す平均演色評価数^{*1}が Ra96 と LED 照明業界における最高水準を実現しており、展示品本来の色を忠実に再現します。

■高い演色性で美しく照らし出す

富山県水墨美術館は、富岡鉄斎や横山大観など近代を代表する水墨画を収蔵しています。水墨画は、材質的に非常に繊細で光による損傷を受けやすいため、照明の照度をできる限り低く設定して展示するなどの配慮がなされています。当社の“自然光 LED”は高い演色性のため照度を落としても展示品本来の色を再現できることに加えて、独自の技術で分光分布を調整するなど損傷への配慮も同時に行っています。これらの点を高く評価いただき採用となりました。



※企画展「生誕100年佐藤太清展」会場風景

シーシーエスは、作品本来の魅力を伝えるとともに、できる限り損傷を抑えることで、作品を後世に残していくという美術館・博物館の使命に応えられるよう、最適な“自然光 LED”による「光」の提案を進めてまいります。

※:平均演色評価数(Ra)とは、照明光による物体の色再現性についての良し悪しを表す代表的な指数です。ある光源のもとで、各物体の色彩が基準光源による照明とまったく同じ色彩に見える場合、その光源の Ra は 100 になります。色再現性が悪化するほど Ra の値は小さくなります。なお、Ra は色の再現性に対する忠実度を表した指数で、主観的な色の見え方に対する好ましさを表すものではありません。

■富山県水墨美術館について

富岡鉄斎や横山大観、竹内栖鳳など近代以降の画家の水墨作品をはじめ、富山県砺波市出身の日本画家・下保昭の水墨作品などが常設展示されています。

また、日本画を中心に、染色や陶芸などを含む多彩な内容で、日本の美術を紹介する企画展を年間を通して開催されています。

○富山県水墨美術館の詳細については、以下をご覧ください。

<http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm>

■シーシーエス株式会社について

シーシーエス株式会社は、1993年に京都で工業用途での検査用LED照明メーカーとして創業以来、検査用LED照明の分野ではリーディングカンパニーとして、トップシェアを誇ります。

工業用途で培った照明の使い方により検査精度を高める技術「ライティングソリューション」を強みに様々な分野へ展開しています。2007年には太陽光に近い光の「自然光LED」を開発、光の質が求められる美術館や博物館などに最適な照明を提供しています。

当社の詳細につきましてはホームページをご覧ください。

<http://www.ccs-inc.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ■

シーシーエス株式会社 <http://www.ccs-inc.co.jp>

経営企画部 広報・IR担当 梶原、秋元

〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル

TEL:075-415-8291(広報) FAX:075-415-7724 E-mail:koho@ccs-inc.co.jp